



# 宮津まちなか 散策マップ

ランチ&ナイトマップ付



歩いて感じる歴史とロマンの町

## 宮津観光ピント会

〒626-0008 京都府宮津市万年895-8 宮津メディアセンター内  
TEL・FAX 0772-22-8800 <http://www.miyazu.gr.jp/>

## 宮津の旨い海の幸

- 春** イサザ、サヨリ、真鯛、メバル、シロギス、アサリ、ワカメ、アカモク
- 夏** 丹後とり貝、岩ガキ、トビウオ、タチウオ、シロイカ、アワビ、サザエ  
※宮津産とり貝～大きさ、肉厚、味の良さ(柔らかく甘い)で日本一と  
言われています。
- 秋** 赤アマダイ、秋イカ、カマス、カレイ、ハタハタ  
※丹後グジ(甘鯛)～淡泊で上品な甘さの高級食材。
- 冬** 松葉ガニ(11月上旬～3月下旬)、ブリ、カキ、サワラ  
※松葉ガニ～冬の味覚の王者のカニ料理。  
※ブリしゃぶ～寒ブリを使った宮津の郷土料理。



**【宮津ひもの】** 宮津湾に水揚げされた魚の干物  
カレイ類(ササカレイ、エテカレイなど)、イカ類(アオリイカ、シロイカなど)、カマス、アジ、サヨリ、グジ(甘鯛)、ニギス、サバ、ハタハタ、イワシ類(マイワシ、ウルメイワシなど)

## 宮津市の別エリアから市街地へのアクセス(車で)



### 観光案内

- 宮津市観光交流センター(道の駅海の京都宮津) Tel. 0772-45-1607 (問合せ時間/午前9時～午後6時)
- 宮津駅前観光案内所(宮津天橋立観光協会の協賛) Tel. 0772-22-5550 (問合せ時間/午前9時30分～午後5時30分)
- 丹後観光情報センター(天橋立駅観光案内所) Tel. 0772-22-8030 (問合せ時間/午前9時～午後6時) <http://www.amanohashidate.jp/>

### 観光ガイド(要予約)

- 宮津観光アテンド Tel. 0772-22-6003
- 宮津エコツアーガイド(天橋立駅観光案内所) Tel. 0772-22-8030



約300年の歴史を持つ老舗の醤油屋さん。

### お食事

- 居酒屋・スナック
- 喫茶
- 旅館・ホテル
- トイレ

### お菓子

- 駐車場
- ガソリンスタンド
- 病院
- 観光案内所

※のお店は中面をご覧ください

### 交通案内

- 日交タクシー(宮津) Tel. 0772-22-2188
- 京都丹後鉄道 宮津駅 Tel. 0772-22-3307
- 丹後海陸交通株本社 Tel. 0772-42-0321
- 丹後海陸交通株宮津案内所 Tel. 0772-22-3231
- 丹後海陸交通株天橋立棧橋 Tel. 0772-22-2164
- ニッポンレンタカー 宮津天橋立営業所 Tel. 0772-22-0382

### 金引の滝

日本の滝100選。高さ40mから流れ落ちる滝は巾20mに及び壮観です。涼しい癒しの自然空間。市街地より車で約5分。下車後徒歩約3分。

### 1 山王宮日吉神社 A-2

古来、山王宮と呼ばれました。宮津郷の総産土神とされます。創建は平安期と思われ、近江坂本の日吉大社から勧請したと伝えます。江戸時代には歴代藩主の崇敬も厚く、その例祭「宮津祭」と呼ばれ、大いに盛り上がりしました。

### 2 如願寺(真言宗) A-2

寺伝によれば、万寿元年(1024)比叡山の僧皇慶が、行基菩薩の業師如来像を負うてここに至り、一字を建てて安置したことに始まるといいます。旧宮津町域の寺院では最も古い創建伝承を有し、如願寺谷川の両岸に多くの塔頭が立ち並ぶ域内屈指の真言宗寺院でした。

### 3 無縁寺(浄土宗) A-3

元禄2年(1689)の創建伝承を持ち、宮津寺町の寺院の中では最も新しい寺院です。9世輪堂上人は、俳号を陶巴といひ、見性寺の輪堂上人(竹溪)、真照寺の恵業上人(第十)とともに与謝蕪村の宮津在住時代の俳諧仲間として「三俳僧」ではユーモラスなタッチで描かれています。

### 4 真照寺(浄土真宗) A-3

もとは天台寺院で有田村(現境馬)にありましたが、火災で天正3年(1575)大久保山に移転。一色氏の祈願により本願寺願上人より寺号公称の許可を得て、のちの京極高広の時代に現在地に移ったとされます。山門は鐘楼門で寛政3年(1856)の建立、「開關」の額が掲げられています。

### 5 無縁寺(浄土宗) A-3

永禄3年(1560)5月、宗賢上人の創建と伝え、宮津寺町の寺院の中では、妙照寺に次いで古く、細川氏入国以前の宮津に関する寺院といえます。明治30年(1897)に高亮繁盛・無病忠火・厄除けを願って創建された曼珠院が昭和2年(1927)の丹後大震災で壊れ、昭和12年に再建された。

### 6 真照寺(浄土真宗) A-3

寛永2年(1625)、京極高広の室寿光院が美田田輝政の追福のため、田辺(舞鶴市)の大泉寺の別源神師を請じて建立したと伝えます。現本堂は天和3年(1683)頃の建築と思われる、本堂を含め庫裏、経蔵、鐘樓が整然と配置された境内は、禅寺らしい凛とした佇まいをみせています。

### 7 真見寺(浄土宗) A-3

創建に係る経緯は詳らかではありませんが、元和2年(1616)の創建、開山を光賢上人とします。延享年中(1673～81)に火災にあい堂舎を失いましたが、天和元年(1681)、藩主阿部正邦により伽藍再建と伝えます。本堂は江戸時代の寺院建築としては珍しい奇矯な造りです。

### 8 本妙寺(日蓮宗) A-3

寛永2年(1625)年4月、京極高広の室寿光院殿が日蓮宗に帰依し、養父の徳川秀忠の菩提のために、田辺(舞鶴市)妙法寺住持の日賢上人を請じて開山したと伝えます。本堂裏の墓地には、寿光院殿如来像の古輪軸が建てられており、この丘からは宮津城下を一望することができます。

### 9 経王寺(日蓮宗) A-4

慶長2年(1597)、与謝郡本庄村(現伊根町)の真言宗傍嚴寺を日依上人が改宗。その後、慶長7年に藩主京極高広の帰依を受け現在の地に移り、娘の了賢殿妙亮日清の香所となったと伝えます。境内に立つ細長い石塔は天保7・8年(1836・37)の大飢饉で亡くなった人々の供養塔です。

### 10 国清寺(臨濟宗) A-4

寛永2年(1625)、京極高広の室寿光院が美田田輝政の追福のため、田辺(舞鶴市)の大泉寺の別源神師を請じて建立したと伝えます。現本堂は天和3年(1683)頃の建築と思われる、本堂を含め庫裏、経蔵、鐘樓が整然と配置された境内は、禅寺らしい凛とした佇まいをみせています。

### 11 妙照寺(日蓮宗) A-4

文安元年(1444)に、丹後府中の地に日養上人により創建されたが、永正4年(1507)、一色氏と若狭守護武田氏との戦いで兵火に罹り、翌5年、色義氏により当地に移されたといひます。宮津寺町の寺院の中で最も古い由緒を持っています。日蓮上人坐像は、開祖日蓮の高弟である日朗上人の作と推定されています。

### 12 大頂寺(浄土宗) B-4

慶長11年(1606)、京極高広が犬の堂山上に香所として建立し、その子高広の代に妻の寿光院の養父である徳川秀忠および家光、家康の法業のため、寛永年中(1624～44)に現在地に移したと伝えます。宮津寺町の寺院では最も高台に位置し、宮津湾、天橋立を一望することができます。

### 13 栄照院(浄土宗) B-4

寛永19年(1642)9月14日、藩主京極高広の家臣落合内蔵助が、慈母の追福のため、皆上人を請じて開いたと伝えます。落合家は京極家の家老職を勤めた家柄で、京極家改易の直前である寛文年間(1711)に知行2千石で家臣団の筆頭、城内三の屋敷を構えていました。

### 14 佛性寺(浄土真宗) B-3

元和年中(1615～24)京極高広が田辺(舞鶴市)から宮津に移る際、田辺瑞光寺の明屋上人とその子順賢を招いて建立したと伝えます。ただし寺伝では宮津に移った時期を細川時代とします。本尊の阿弥陀如来像は鎌倉時代後期の作で、「阿彌尊様」といわれる立像阿弥陀仏の系譜をひくものと推定されています。

### 15 旧三上家住宅 B-3

三上家は江戸時代において、酒造業、船業、茶業等を営む一方、藩政や宮津城下の町政に深く関わっていた商家です。当住宅は町屋建築としては大規模な部類に属し、徹底した防火構造をとっていることが特色です。また酒造施設も良く残されている点などから、国の重要文化財に指定されています。

### 16 和貴宮神社 B-3

祭神は天之御中主神、相照に豊皇皇孫神を祀ります。現本殿は一間社建造で文化4年(1807)の再建です。横山稲山、松山龍庵といった都の絵師の手による絵馬の大作が掲げられています。本殿南にある大岩は「水越石」と呼ばれ、かつてこのあたりが海岸線であったという伝承を残しています。

### 17 旧三上家住宅 B-3

三上家は江戸時代において、酒造業、船業、茶業等を営む一方、藩政や宮津城下の町政に深く関わっていた商家です。当住宅は町屋建築としては大規模な部類に属し、徹底した防火構造をとっていることが特色です。また酒造施設も良く残されている点などから、国の重要文化財に指定されています。

### 18 和貴宮神社 B-3

祭神は天之御中主神、相照に豊皇皇孫神を祀ります。現本殿は一間社建造で文化4年(1807)の再建です。横山稲山、松山龍庵といった都の絵師の手による絵馬の大作が掲げられています。本殿南にある大岩は「水越石」と呼ばれ、かつてこのあたりが海岸線であったという伝承を残しています。

### 19 カトリック宮津教会 C-3

フランス人宣教師ルイ・ルラブ神父により明治29年(1896)に建立された天主堂です。色彩やかなステンド・グラス、けやきの柱、ドーム式の天井など、明治前期の面影を留める貴重な教会建築であり、今もミサの捧げられる現役の聖堂として、日本で最も古いものとされています。

### 20 智源寺(曹洞宗) B-4

寛永2年(1625)、宮津藩主京極高広により明治29年(1896)に建立された天主堂です。色彩やかなステンド・グラス、けやきの柱、ドーム式の天井など、明治前期の面影を留める貴重な教会建築であり、今もミサの捧げられる現役の聖堂として、日本で最も古いものとされています。

### 21 妙照寺(日蓮宗) A-4

文安元年(1444)に、丹後府中の地に日養上人により創建されたが、永正4年(1507)、一色氏と若狭守護武田氏との戦いで兵火に罹り、翌5年、色義氏により当地に移されたといひます。宮津寺町の寺院の中で最も古い由緒を持っています。日蓮上人坐像は、開祖日蓮の高弟である日朗上人の作と推定されています。

### 22 大頂寺(浄土宗) B-4

慶長11年(1606)、京極高広が犬の堂山上に香所として建立し、その子高広の代に妻の寿光院の養父である徳川秀忠および家光、家康の法業のため、寛永年中(1624～44)に現在地に移したと伝えます。宮津寺町の寺院では最も高台に位置し、宮津湾、天橋立を一望することができます。

### 23 栄照院(浄土宗) B-4

寛永19年(1642)9月14日、藩主京極高広の家臣落合内蔵助が、慈母の追福のため、皆上人を請じて開いたと伝えます。落合家は京極家の家老職を勤めた家柄で、京極家改易の直前である寛文年間(1711)に知行2千石で家臣団の筆頭、城内三の屋敷を構えていました。

### 24 佛性寺(浄土真宗) B-3

元和年中(1615～24)京極高広が田辺(舞鶴市)から宮津に移る際、田辺瑞光寺の明屋上人とその子順賢を招いて建立したと伝えます。ただし寺伝では宮津に移った時期を細川時代とします。本尊の阿弥陀如来像は鎌倉時代後期の作で、「阿彌尊様」といわれる立像阿弥陀仏の系譜をひくものと推定されています。

### 25 経王寺(日蓮宗) A-4

慶長2年(1597)、与謝郡本庄村(現伊根町)の真言宗傍嚴寺を日依上人が改宗。その後、慶長7年に藩主京極高広の帰依を受け現在の地に移り、娘の了賢殿妙亮日清の香所となったと伝えます。境内に立つ細長い石塔は天保7・8年(1836・37)の大飢饉で亡くなった人々の供養塔です。

### 26 和貴宮神社 B-3

祭神は天之御中主神、相照に豊皇皇孫神を祀ります。現本殿は一間社建造で文化4年(1807)の再建です。横山稲山、松山龍庵といった都の絵師の手による絵馬の大作が掲げられています。本殿南にある大岩は「水越石」と呼ばれ、かつてこのあたりが海岸線であったという伝承を残しています。

### 27 カトリック宮津教会 C-3

フランス人宣教師ルイ・ルラブ神父により明治29年(1896)に建立された天主堂です。色彩やかなステンド・グラス、けやきの柱、ドーム式の天井など、明治前期の面影を留める貴重な教会建築であり、今もミサの捧げられる現役の聖堂として、日本で最も古いものとされています。

### 28 智源寺(曹洞宗) B-4

寛永2年(1625)、宮津藩主京極高広により明治29年(1896)に建立された天主堂です。色彩やかなステンド・グラス、けやきの柱、ドーム式の天井など、明治前期の面影を留める貴重な教会建築であり、今もミサの捧げられる現役の聖堂として、日本で最も古いものとされています。

### 29 本妙寺(日蓮宗) A-3

寛永2年(1625)年4月、京極高広の室寿光院殿が日蓮宗に帰依し、養父の徳川秀忠の菩提のために、田辺(舞鶴市)妙法寺住持の日賢上人を請じて開山したと伝えます。本堂裏の墓地には、寿光院殿如来像の古輪軸が建てられており、この丘からは宮津城下を一望することができます。

### 30 無縁寺(浄土宗) A-3

元禄2年(1689)の創建伝承を持ち、宮津寺町の寺院の中では最も新しい寺院です。9世輪堂上人は、俳号を陶巴といひ、見性寺の輪堂上人(竹溪)、真照寺の恵業上人(第十)とともに与謝蕪村の宮津在住時代の俳諧仲間として「三俳僧」ではユーモラスなタッチで描かれています。

### 31 真照寺(浄土真宗) A-3

もとは天台寺院で有田村(現境馬)にありましたが、火災で天正3年(1575)大久保山に移転。一色氏の祈願により本願寺願上人より寺号公称の許可を得て、のちの京極高広の時代に現在地に移ったとされます。山門は鐘楼門で寛政3年(1856)の建立、「開關」の額が掲げられています。

### 32 真見寺(浄土宗) A-3

創建に係る経緯は詳らかではありませんが、元和2年(1616)の創建、開山を光賢上人とします。延享年中(1673～81)に火災にあい堂舎を失いましたが、天和元年(1681)、藩主阿部正邦により伽藍再建と伝えます。本堂は江戸時代の寺院建築としては珍しい奇矯な造りです。

### 33 山王宮日吉神社 A-2

古来、山王宮と呼ばれました。宮津郷の総産土神とされます。創建は平安期と思われ、近江坂本の日吉大社から勧請したと伝えます。江戸時代には歴代藩主の崇敬も厚く、その例祭「宮津祭」と呼ばれ、大いに盛り上がりしました。

### 34 如願寺(真言宗) A-2

寺伝によれば、万寿元年(1024)比叡山の僧皇慶が、行基菩薩の業師如来像を負うてここに至り、一字を建てて安置したことに始まるといいます。旧宮津町域の寺院では最も古い創建伝承を有し、如願寺谷川の両岸に多くの塔頭が立ち並ぶ域内屈指の真言宗寺院でした。

### 35 無縁寺(浄土宗) A-3

元禄2年(1689)の創建伝承を持ち、宮津寺町の寺院の中では最も新しい寺院です。9世輪堂上人は、俳号を陶巴といひ、見性寺の輪堂上人(竹溪)、真照寺の恵業上人(第十)とともに与謝蕪村の宮津在住時代の俳諧仲間として「三俳僧」ではユーモラスなタッチで描かれています。

### 36 真照寺(浄土真宗) A-3

もとは天台寺院で有田村(現境馬)にありましたが、火災で天正3年(1575)大久保山に移転。一色氏の祈願により本願寺願上人より寺号公称の許可を得て、のちの京極高広の時代に現在地に移ったとされます。山門は鐘楼門で寛政3年(1856)の建立、「開關」の額が掲げられています。

### 37 真見寺(浄土宗) A-3

創建に係る経緯は詳らかではありませんが、元和2年(1616)の創建、開山を光賢上人とします。延享年中(1673～81)に火災にあい堂舎を失いましたが、天和元年(1681)、藩主阿部正邦により伽藍再建と伝えます。本堂は江戸時代の寺院建築としては珍しい奇矯な造りです。

### 38 大頂寺(浄土宗) B-4

慶長11年(1606)、京極高広が犬の堂山上に香所として建立し、その子高広の代に妻の寿光院の養父である徳川秀忠および家光、家康の法業のため、寛永年中(1624～44)に現在地に移したと伝えます。宮津寺町の寺院では最も高台に位置し、宮津湾、天橋立を一望することができます。

### 39 栄照院(浄土宗) B-4

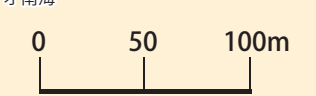
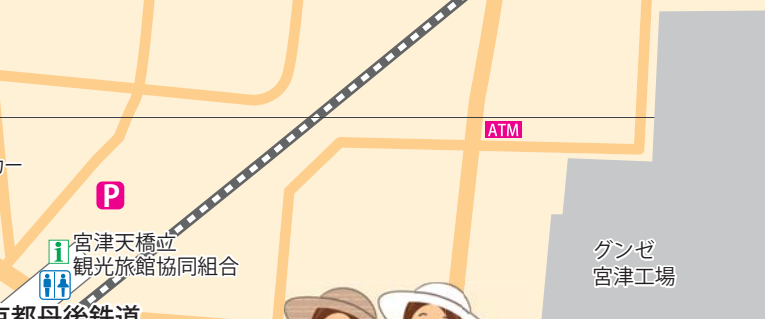
寛永19年(1642)9月14日、藩主京極高広の家臣落合内蔵助が、慈母の追福のため、皆上人を請じて開いたと伝えます。落合家は京極家の家老職を勤めた家柄で、京極家改易の直前である寛文年間(1711)に知行2千石で家臣団の筆頭、城内三の屋敷を構えていました。

### 40 佛性寺(浄土真宗) B-3

元和年中(1615～24)京極高広が田辺(舞鶴市)から宮津に移る際、田辺瑞光寺の明屋上人とその子順賢を招いて建立したと伝えます。ただし寺伝では宮津に移った時期を細川時代とします。本尊の阿弥陀如来像は鎌倉時代後期の作で、「阿彌尊様」といわれる立像阿弥陀仏の系譜をひくものと推定されています。

### 宮津歳時記

4月上旬	桜(滝上公園・日吉神社)	10月上旬	城下町宮津万石寺 和火 蕪村まつり(見性寺)
4月中旬	ツツジ(獅子崎稲荷神社)	10月中旬	体育の日 赤ちゃん初土俵入り(山王宮日吉神社)
5月13～15日	宮津祭	11月上旬	松葉ガニ解禁
5月中旬～7月中旬	丹後祭り	12月下旬	大江山スキー場開き
8月15日	宮津市民総おどり大会		
8月16日	宮津燈籠流し花火大会		





# 宮津まちなか ランチ&ナイトマップ

**お食事** (食料品) **お菓子** (デザート)

**居酒屋・スナック** (飲食) **駐車場** (P)

**喫茶** (カフェ) **ガソリンスタンド** (ガソリン)

**旅館・ホテル** (宿泊) **病院** (医療)

**トイレ** (トイレ) **観光案内所** (観光)

- 1 海鮮かわさき** (A-1) 海鮮料理 0772-22-6953
- 2 カネマス七輪焼き** (A-2) 七輪焼・魚介料理 0772-22-3297
- 3 絵梨奈** (A-3) 喫茶、定食 0772-22-2727
- 4 藤木食堂** (A-3) 食堂 0772-22-3551
- 5 ホアンカン** (B-2) 喫茶 0772-22-0373
- 6 小銭寿司** (B-2) 寿司 0772-22-0568
- 7 鮭処 四季** (B-2) 寿司 0772-22-0232
- 8 ビュアジョリー** (B-2) レストラン 0772-25-5408
- 9 かつぶじ** (B-2) とんかつ 0772-25-3100
- 10 山海屋** (B-2) 郷土料理 0772-25-1661
- 11 ファッションスタ** (B-2) ショップバー 0772-22-3039
- 12 すずらん** (B-2) スナック 0772-25-1492
- 13 魚ZEN** (B-2) ダイニングバー 0772-22-2268
- 14 丹後でダンゴ** (B-2) 団子 0772-22-5000
- 15 割烹たんご** (B-2) 割烹居酒屋 0772-22-4355
- 16 大門うどん** (B-2) うどん 0772-22-2338
- 17 たむら** (B-2) 酒房 0772-22-3129
- 18 千鳥** (B-2) 焼鳥 0772-22-3434
- 19 酒菜禅** (B-2) 割烹居酒屋 0772-22-7778
- 20 こまどり** (B-2) 喫茶 0772-22-2625
- 21 桜俱樂部** (B-2) スナック 0772-22-8897
- 22 だいせん** (B-3) お好み焼き 0772-22-1958
- 23 綱工房** (B-3) 割烹居酒屋 0772-22-2789
- 24 司** (B-3) バー 0772-22-1556
- 25 ちさと** (B-3) 一品料理 0772-22-2208
- 26 多恵** (B-3) スナック 0772-22-4839
- 27 英国屋** (B-3) バー 0772-22-1871
- 28 ドンドン** (B-3) パブ 0772-22-1573
- 29 駅馬車** (B-3) 喫茶・スナック 0772-22-7270
- 30 ロビン** (B-3) スナック 0772-22-2789
- 31 グラム** (B-3) スナック 0772-22-4827
- 32 から代** (B-3) スナック 0772-22-4716
- 33 あかしや** (B-3) ラーメン 0772-22-3847
- 34 あっちゃん** (B-3) 居酒屋 0772-25-2222
- 35 豚珍館** (B-3) 中華料理 0772-25-1715
- 36 里凡** (B-3) スナック 0772-22-4051
- 37 入船** (B-3) 一品料理 0772-22-0664
- 38 割烹KANTA** (B-3) 割烹居酒屋 090-5046-7072
- 39 いいとも** (B-3) スナック 0772-22-2044
- 40 波都** (B-3) 一品料理 0772-22-2760
- 41 とき家** (B-3) 割烹 0772-22-3509
- 42 大手川** (B-3) 海鮮料理 0772-25-1400

**43 珈琲館レディヤン** (B-3) 喫茶 0772-22-1747

**44 ぼん太** (B-3) 魚料理 0772-22-7110

**45 精養軒** (B-3) 洋食 0772-22-2426

**46 MogMog** (B-3) カフェ 080-5324-4083

**47 スナック絹** (B-3) スナック 0772-25-2078

**48 歌謡スタジオシング** (B-3) カラオケスナック 0772-22-5528

**49 山小舎** (B-3) 喫茶 0772-22-3717

**50 nagaya cafe 桜山** (B-3) 喫茶 0772-21-1047

**51 Azito アジト** (B-3) ダイニングバー 0772-22-2677

**52 レトロカフェ長久堂** (B-3) 喫茶 0772-21-7254

**53 料理や水野** (B-3) 割烹・小料理 0772-22-8555

**54 民民** (B-4) 中華料理 0772-22-0693

**55 四季膳花の** (C-2) 懐石・会席料理 0772-22-0206

**56 サウンドしま** (C-3) カラオケスナック 0772-22-2674

**57 ふみや** (C-3) 料亭 0772-25-1123

**58 こんぴらうどん** (C-3) うどん 0772-22-0700

**59 レストラン漁連** (C-3) 海鮮料理 0772-22-3189

**60 越路** (C-3) 喫茶 0772-22-6667

**61 どさん娘** (C-3) ラーメン 0772-22-7248

**62 糸仲** (C-3) 定食・食堂 0772-22-1080

**63 ルアン** (C-3) 喫茶 (休) 隔週土・日

**64 美優食心** (C-4) 割烹・小料理 (休) 月 (ランチ不特定)

**65 カフェ村田堂** (C-3) 喫茶 0772-25-2170

**66 どんどんや** (D-3) うどん 0772-22-7800

**67 焼肉丸善** (D-3) 焼肉 0772-22-8084

**68 やきとり大吉** (C-4) やきとり居酒屋 0772-22-8396

**69 ロベリア** (C-4) 喫茶・スナック 0772-22-7522

**70 サイホン** (C-4) 喫茶 0772-25-0850

**71 富田屋** (C-4) 海鮮料理 0772-22-0015

**72 丹後四季料理平の家** (C-4) 郷土料理 0772-22-2419

**73 かしの木** (C-4) 喫茶 0772-22-4833

**74 紗夜** (D-3) 居酒屋 0772-22-5792

**75 水中花** (D-3) カラオケ・スナック 0772-22-0189

**76 なみじ** (D-3) 寿司・カニ料理 0772-20-1188

**77 あむーる** (D-4) 喫茶 0772-22-4833

**78 喫茶500** (D-4) 喫茶 0772-22-0500